

第4回学校運営協議会・学校関係者評価委員会 議事録

1 日時 令和7年2月12日(水)午前9時30分から11時30分まで

2 場所 静岡南部特別支援学校 3階 小会議室

3 出席者

静岡南部特別支援学校教職員

学校運営協議会委員

4 議事録

(1)令和6年度学校自己評価報告

【小学部】

- ・校外学習、係活動、調理実習など、様々な経験を通して生活の幅を広げることができた。
- ・他校との交流も積極的に行い、地域社会との繋がりを深めることができた。
- ・ICTを有効活用した学習を進めることができた。

【中学部】:

- ・生活単元学習、体育、修学旅行の事前学習など、多様な学習に取り組むことができた。
- ・オンラインでの交流や、学校での共同活動を通して、生徒同士の繋がりを深めることができた。
- ・地域の人を招いたり、他校との交流を行ったりして、社会性を育むことができた。

【訪問教育】:

- ・タブレットを使った音楽活動や、身体を使った活動を通して、自分でできた達成感がもて、自己表現力を高めることができた。
- ・オンライン交流や、スクーリングでの活動を通して、他者との関わりを経験することができた。

【学校】

- ・地域や交流校との連携を通して、社会参加の機会を増やしており、それらの活動を通して、児童・生徒たちは様々な経験を積み、成長している

(学校評価アンケートより)

- ・児童生徒アンケート…学校が好き、授業が分かるという項目で高い評価を得た。
- ・保護者アンケートでも、学校との連携についての高い評価を得た。
- ・教職員からも、チームでの授業作りやつながりが評価された。

(2)学校関係者評価

〈成果〉

- ・学びの積み重ねについて、掲示物や写真で振り返ることができて有効である。
- ・多様な経験が子供たちの視野を広げている。
- ・施設との情報共有は児童生徒の理解に不可欠であり、継続していきたい。

- ・ICT 機器の活用により、個々に合った学習が促進されている。
- ・感染症対策が徹底されている。
- ・災害時対応において、医療的ケアが必要な生徒への対策が課題である。
- ・学校と病院の連携は強みであり、活用すべき。
- ・訪問教育でのリモート授業は、互いの存在を意識するために重要。
- ・地域との交流は子供たちの社会性を育む上で有益。また相互理解を深める上で重要である。

〈課題〉

- ・災害時対応において、医療的ケアが必要な通学している生徒への対策が必要。
- ・訪問教育における避難訓練の実施に課題がある。来年度以降自宅での避難訓練や保護者の意識向上に取り組む必要がある。
- ・情報共有の効率化:ICT の活用は進んでいるものの、教職員が情報共有ツールを使いこなせるように、引き続き研修やサポートが必要。

(3) 令和 7 年度の学校経営計画について

- ・基本方針: 令和 7 年度の学校経営計画は、基本的に今年度と同じ形を継続する。
- ・変更点: 今年度は「学び高め合う」を最優先にしていたが、来年度は「守り認め合う」を優先に置き、安全安心な学校生活と学校環境を整えることを重視する。
- ・防災対策: 南海トラフ地震への対策を講じる。
- ・人権教育: 自己と相手を認め合える生活を大切にする。
- ・ICT を活用し、児童生徒一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を探る。
- ・教員のやりがい重視する。
- ・子供たちの成長を教員同士で共有し、教育内容の深化を目指す。
- ・地域との連携: 今年度並みの規模で、無理のない範囲で地域との繋がりを維持する。
- ・授業改善: 授業改善の時間を設け、授業後や次の授業までに改善点を発信する。
- ・情報共有: Google アプリの活用をし、教職員全体での情報共有を促進する。業務時間の短縮と、教員同士が話し合う時間を確保する。

